



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会 〒251-0026 藤沢市鵠沼東3-2 秩父宮記念体育館内

URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>



野球フェスティバル開会式選手宣誓

藤沢市野球協会学童部

学童野球人気を再燃へ

藤沢市野球協会学童部は、教育的見地よりアマチュアスポーツとしての正しい軟式野球を市内学童全般に普及することを主な目的に活動しています。

具体的な活動ですが、各種大会の運営として春季・夏季・秋季大会や新人大会を毎年開催しています。今年度も春季大会には6年生を中

心としたI部リーグで24チーム381人、5年生を中心としたII部リーグで11チーム163人、4年生を中心としたIII部リーグでは26チーム377人が参加しています。

その他にも、全国的にも珍しい学童、中学生、高校生、社会人の世代別野球人交流を目的とした「藤沢の野球フェスティバル」や県内8市町の学童チームを対象とした大会で他市町とのチームの交流の場となっている「かがわ信用金庫杯」を実行委員会の主管として実施しています。

これからの取り組み

少子高齢化の進展や子供たちのスポーツ離れなどによる野球人口の減少、また最近では指導者の知識不足などから生ずる成長期スポーツ障がいなど社会問題として取り上げられるなど学童野球を取り巻く環境は変化してきており、当協会として、その変化へ積極的に対応していくことが必要であると考えています。このことから、例えばトスボールといった誰でも気軽に楽しめる競技の導入や「肩・肘故障の予防に関する講習会」の実施などを推進していくことで、一人でも多くの子ども



春季大会開会式

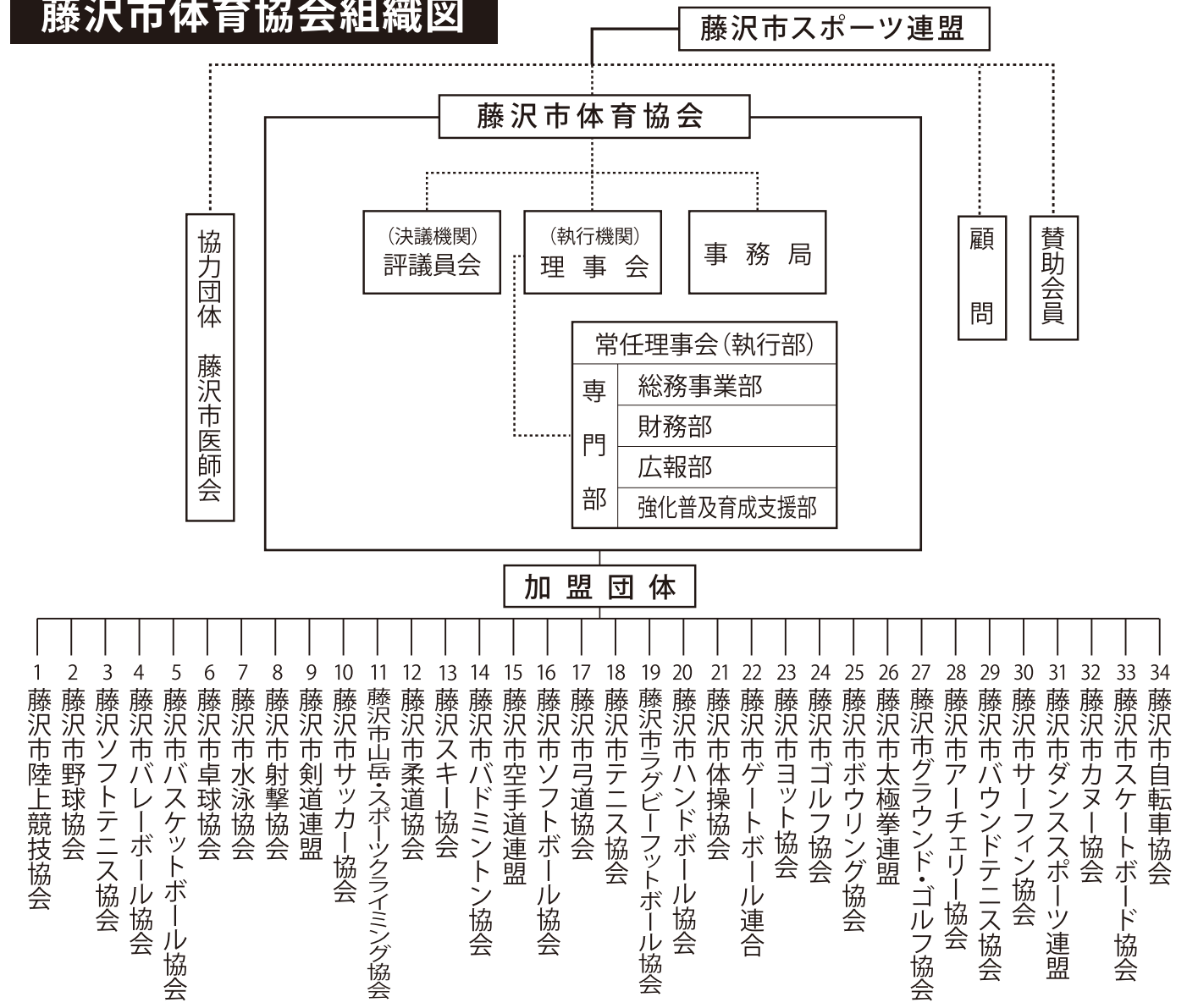
たちが野球を楽しんでもらい、そして野球を続けてもらう環境づくりに繋がっていきたいと考えています。(及川)

令和四年度 藤沢市体育協会役員名簿

今年度も、掲載の役員と組織構成にて運営してまいります。感染症の影響がまだまだ続いている状況ですが、各団体とも連携し、ふじさわスポーツの発展に寄与していきたいと考え、引き続きご協力をお願い致します。

Table of association members and officers, including roles like 会長, 副会長, 理事, 常任理事, 監事, 評議員, 顧問, 賛助会員, and names such as 林八幡, 波多野, 青木, 佐藤, 鈴木, etc.

藤沢市体育協会組織図



- List of 34 affiliated organizations (加盟団体) including 藤沢市陸上競技協会, 藤沢市野球協会, 藤沢市バスケットボール協会, etc.

令和4年度 藤沢市体育協会事業計画

<今年度重点課題>

(1) 組織強化に向けた取り組み

常任理事会・理事会・4 専門部会及び評議員会の充実を図ると共に、自主財源確保に努め、加盟団体の活動を積極的に支援し、市民の健康増進に寄与する事業の推進及び新たな会員の発掘に取り組む。

(2) 強化普及に向けた取り組み

各団体の選手育成強化については、これまで通り各団体において進めていただき、その結果、成果に基づく支援については夢基金からの支援を継続する。普及については、組織強化のためにも愛好者の拡充が必要であり、講習会や教室等を一定期間開催し、拡充が図られた団体への支援に取り組む。

1. 評議員会、常任理事会、理事会、専門部会(総務事業部会・財務部会・広報部会・強化普及育成支援部会)の開催

2. 藤沢市委託事業の実施

- (1) 藤沢市民総合体育大会継承大会開催事業
- (2) スポーツ人の集い開催業務(表彰式典及び講演会)

3. 藤沢市スポーツ関係団体との連携充実

- (1) 藤沢市スポーツ推進計画2029に基づくスポーツの推進
- (2) スポーツ推進課、(公財)藤沢市みらい創造財団、藤沢市医師会等との連携
- (3) 藤沢市スポーツ連盟施策の相互協力と連携

4. 本協会の主催行事と共催行事

【主催行事】

- (1) A E D救命法講習会の開催
- (2) 加盟団体会長会の開催
- (3) スポーツ人の集いの開催

【共催行事】

- (1) 藤沢市医師会と共催でスポーツフォーラムを運営し、健康管理一般等の講演会を開催
- (2) 「スポーツまつりふじさわ」の開催協力と積極的な参画を図る

<令和4年度藤沢市民総合体育大会継承大会>

No	競技種目	開催日	会場
1	陸上競技	7/23(土)～7/24(日)	神奈川県立スポーツセンター
2	野球	10/9(日)～11/20(日)	八部公園野球場他
3	ソフトテニス	8/28(日)	八部公園テニスコート
4	バレーボール	6/19(日)	秋葉台文化体育館
5	バスケットボール	6/5(日)～7/10(日)	秋葉台文化体育館他
6	卓球	9/4(日)	秩父宮記念体育館
7	水泳	7/10(日)	秋葉台公園屋外プール
8	射撃	7/17(日)	大井射撃場
9	剣道	8/21(日)	秩父宮記念体育館
10	サッカー	8/16(火)～2/11(日)	秋葉台公園球技場他
11	山岳・スポーツクライミング	9/18(日)	県立山岳スポーツセンター
12	柔道	11/13(日)	秋葉台文化体育館
13	スキー	1/29(日)	菅平高原スキー場
14	バドミントン	6/11(土)～7/17(日)	秩父宮記念体育館
15	空手道	10/16(日)	秩父宮記念体育館
16	ソフトボール	4/17(日)～5/8(日)	天神スポーツ広場他
17	弓道	7/10(日)	秩父宮記念体育館弓道場
18	テニス	7/16(土)～8/28(日)	八部公園テニスコート他
19	ラグビーフットボール	5/7(土)～12/4(日)	秋葉台公園球技場
20	ハンドボール	12/10(土)～12/18(日)	秋葉台文化体育館
21	体操	8/7(日)	秋葉台文化体育館
22	ゲートボール	11/20(日)	秋葉台公園球技場
23	ヨット	8/7(日)	江の島ヨットハーバー沖
24	ゴルフ	8/29(月)	芙蓉カントリークラブ
25	ボウリング	9/23(金・祝)	江の島ボウリングセンター
26	太極拳	11/13(日)	秩父宮記念体育館
27	グラウンド・ゴルフ	11/16(水)	秋葉台公園球技場
28	アーチェリー	10/9(日)	御所見の森アーチェリー練習場
29	パウンドテニス	12/4(日)	秩父宮記念体育館
30	サーフィン	9/4(日)	鵜沼海岸スケートボードパーク前
31	ダンススポーツ	1/15(日)	秩父宮記念体育館
32	カヌー	10/30(日)	引地川
33	スケートボード	開催日未定	
34	自転車	10/29(土)	KOASTAL BIKE PARK

令和3年度 収支決算

1. 収入の部 (単位 円)		2. 支出の部 (単位 円)	
項目	収入済額	項目	支出済額
体協費	7,092,654	運営費	6,872,904
補助金及び交付金	3,670,000	事務局費	1,778,930
委託料	1,038,000	事業費	4,993,974
賛助会費	1,526,000	積立金	100,000
分担金	594,100	予備費	0
繰越金	264,540		
雑収入	14		
収入済額 7,092,654 円		支出済額 6,872,904 円	
支出済額 6,872,904 円		差引額 219,750 円	
差引額 219,750 円			

【一般会計】		【特別会計】	
項目	収入済額	項目	支出済額
事業費	601,374	事業関係費	601,374
スポーツ人の集い	601,374	スポーツ人の集い	601,374
加盟団体会長会	0	加盟団体会長会	0
収入済額 601,374 円		支出済額 601,374 円	
支出済額 601,374 円		差引額 0 円	
差引額 0 円			

令和4年度 収支予算

1. 収入の部 (単位 円)		2. 支出の部 (単位 円)	
項目	予算額	項目	予算額
体協費	7,614,000	運営費	7,614,000
補助金及び交付金	3,670,000	事務局費	2,044,600
委託料	1,398,000	事業費	5,333,000
賛助会費	1,500,000	積立金	230,000
分担金	595,000	予備費	6,400
繰越金	219,750		
雑収入	231,250		
収入済額 7,614,000 円		支出済額 7,614,000 円	
支出済額 7,614,000 円		差引額 0 円	
差引額 0 円			

【一般会計】		【特別会計】	
項目	予算額	項目	予算額
事業費	2,070,000	事業関係費	2,070,000
スポーツ人の集い	1,550,000	スポーツ人の集い	1,550,000
加盟団体会長会	520,000	加盟団体会長会	520,000
収入済額 2,070,000 円		支出済額 2,070,000 円	
支出済額 2,070,000 円		差引額 0 円	
差引額 0 円			

少年スポーツの取組み

「4級審判員レベルアップ研修会の開催」～質の向上に向けて



実践的トレーニング

サッカー協会では、“世代をこえて、地域スポーツの広がりをも！”を合言葉に、協会の目標として、「明るく元気に生活することを心がける」「質の向上を心がける」の二つをあげています。

少年委員会では、質の向上を目指して、審判員のレベルアップを目指した研修会を4月16日・23日に秋葉台球技場で開催し、2022年度の活動を踏み出しています。

今迄の『審判員講習会・研修会』とは異なり、対象を絞り、目的をはっきりとさせた研修会は初めての試みです。プラクティカル(実践的)なトレーニングを行い、隣で行う『藤沢選抜のセレクション』のゲームで主審と副審を実際に行いました。

主審では、ホイッスルの吹き方に始まり、コーナーキックの時のポジションの取り方など、副審では、フラッグの持ち方、ラインキープ時の走り方とフラッグの持ち手などを、参加者みんなで考え、その合理性を知りました。見て⇒考えて⇒実際に動くという内容です。

選手や指導者たちが、日ごろ練習で積み重ねてきたスキルを試合で十分に表現できるよう、試合の進行役の審判が試合をコントロールし、快適な試合環境を提供するための第一歩の研修会でした。(サッカー協会:杉淵)



フラッグの持ち方

スポーツの基礎を学ぶ

器械体操は多くのスポーツの基礎となる体の動かし方を学ぶことができます。藤沢市体操協会では、藤沢市内にていくつかの体操教室を開催しています。今回、写真で紹介するのは、本町体操教室、亀井野体操教室、駒寄体操教室の3教室です。それぞれ雰囲気や特色は異なりますが、市内の小学生が集まり、仲良く体を動かしています。上級生ともなれば、各人がリーダーの思いでみんなを引っ張っています。

今年度は、多くの参加希望者があり、各教室ともあふれているような状況です。感染症の影響で体を動かす機会も減っていますが、少しでも体の動かし方を覚え、他の様々なスポーツにも挑戦して欲しいと思います。元気な体づくりを目標に今後も進めていきます。

(体操協会:新村)



駒寄教室



本町教室



亀井野教室



救命法講習会

6月11日(土)秩父宮記念体育館武道室において、AED救命法講習会が藤沢市消防局救急救命課とNPO法人ふじさわ救命普及推進会のご協力のもと3年ぶりに開催されました。

今回は新型コロナウイルス感染防止のため参加人数を制限し、講習時間も2時間に短縮された開催でした。



熱心に受講する皆さん

体協関係者17名が参加し一次救命処置の流れの下で心肺蘇生法の手技で、ある胸骨圧迫方法、AEDの取り扱い方法、気道異物除去法、止血法を講師の皆様にご指導いただきました。(谷本)

編集後記

今回は、少年スポーツの取り組みというテーマで構成しました。感染症の影響で思うような活動ができない状況のところが多いと思いますが、何とか工夫して、体を動かす機会を作っている各団体の取り組みを掲載してみました。大事な少年期によく体を動かす、その後のスポーツに対する選択肢を増やせばと思います。

まだまだ感染症には注意が必要ですが、少しでも体を動かすことを大事にしていきたいでしょう。

(新村、武井)